

所管課：教育部生涯学習課

期 間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

平成30年度 各地区公民館等管理運営評価表

1 施設概要

設置目的	北本市地区公民館等における市民の生涯学習及びレクリエーション活動を推進し、市民の教養の向上、生活文化の振興、健康及び社会福祉の増進に寄与すること。
施設内容	1. 南部公民館、南部集会所 2. 東部公民館、東部集会所、視聴覚ライブラリー 3. 西部公民館、西部集会所、荒井公園 4. 北部公民館、北部集会所 5. 中丸公民館、中丸集会所 6. 勤労福祉センター 7. コミュニティセンター 8. 学習センター
指定管理料の支出額	協定締結額 162,022,000 円 支出済額 162,022,000 円

2 指定管理者

名 称	一般社団法人北本市コミュニティ協議会
所 在	北本市本町8丁目16番地3
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
業務範囲	(1) 施設の利用許可に関する業務 (2) 施設の利用に係る料金の収受に関する業務 (3) 施設、設備及び備品の維持管理に関する業務 (4) 主催事業（イベント含む）に関する業務 (5) その他、施設の設置の目的を達成するために必要な業務であって、教育委員会と協議の上定めた業務

3 管理運営の実績

施設の貸出状況等	条例・規則、仕様書に基づいた受付・貸出が行われた。 ・利用者数は312,166人（平成29年度319,015人）で前年同期比6,849人の減、率にして約2.14%の減
料金の収受の状況	条例・規則に基づき収受が行われた。 ・貸館業務21,004,275円（平成29年度21,544,900円）で前年同期比540,625円の減、率にして約2.50%の減
自主事業の状況	健康体操、健康ヨガ教室、テニポン、各館での高齢者学級やサマーフェスタ事業、サロン事業等を実施した。
施設維持管理の状況	清掃、設備の点検、警備、植栽の管理等が行われた。
収支の状況	(1) 収入 193,216,625 円 指定管理料 162,022,000 円、利用料金 21,004,275 円、主催事業収入 367,714 円、公民館サロン補助金 320,000 円、雑収入（印刷機、コピー機、公衆電話）1,395,560 円、受取利息 85 円、繰越金 8,106,991 円

	<p>(2) 支出 193,216,625 円</p> <p>人件費(報酬)84,248,106 円、事務費 25,137,670 円、管理費 70,656,564 円、事業費 1,132,848 円、予備費 0 円、繰越金 12,041,437 円</p> <p>(3) 収支 0 円 (但し、繰越金 12,041,437 円)</p>
--	---

4 利用者の満足度調査等

利用者アンケートの結果	<p>4月に実施した利用者アンケートからは、女性の利用者が多い、60代～70代の利用者が多い、市内在住者の利用が大半であり、利用者の7割の方がサークル活動で公民館を利用している。</p> <p>また、施設関係では、どの施設も老朽化しており、中でもトイレ改修（和式を洋式に変更）、照明が暗い、空調の故障が多いため夏の利用が困難など施設・設備の老朽化に伴う不満の声も多く寄せられている。</p> <p>高齢者社会を迎え、公民館は地域の人々との交流の場として、その利用満足度を高めていくことを多くの人が望んでいます。今後さらなる改善と魅力ある地域づくりに貢献していく。</p>
利用者の意見、苦情等とその対応	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な声かけや窓口での接客は、誠意をもって対応するとともに研修等を含め職員教育を図っている。 ・全館に意見箱を設置し、利用者からの意見や要望等を把握しており、その対応に関する記録を整備し、市へ速やかに報告している。

5 庁内検査委員会のまとめ

所見	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理業務と法人事業を明確に区分すること(事業報告書を精査すること。収支報告書を精査すること。) ・空調機等の各設備を点検し、適正な管理を徹底すること。 ・利用者の要望等についての対応を明確に示すこと。 ・所管課は、モニタリングを通して詳細なヒアリングを実施し指定管理者業務の把握に努めること。
----	--

6 前回評価委員会の指摘事項

指摘事項	
対応状況	

7 評価委員会のまとめ

総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ● A：業務が履行され、施設の管理運営が適切になされている。 ○ B：一部改善を要する事項はあるが、施設の管理運営がほぼ適切になされている。 ○ C：履行に重大な問題がある
所見	

(評価実施日 令和元年8月2日)